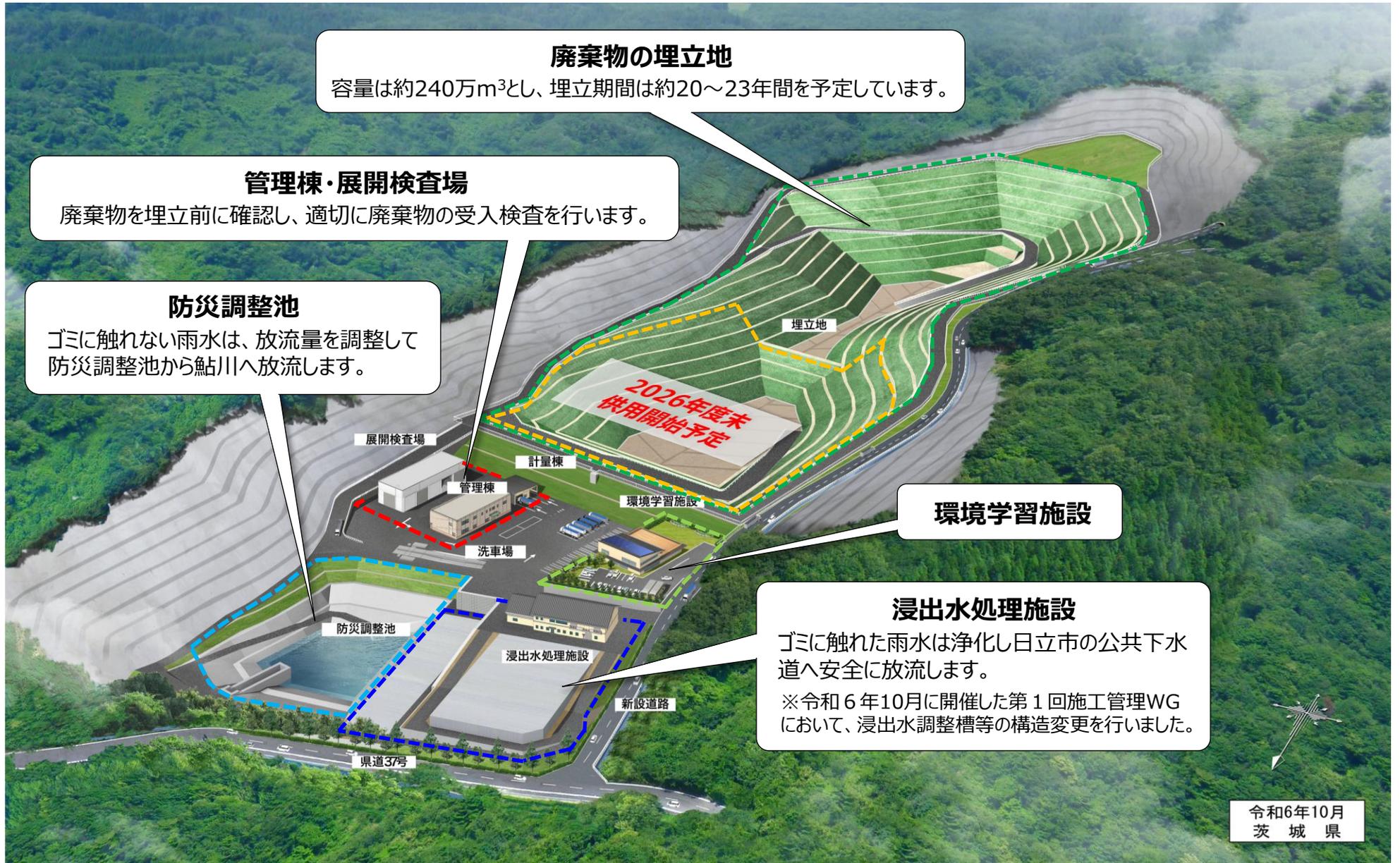


処分場建設工事の進捗状況及び 環境保全対策の実施状況について

令和 7 年 3 月 8 日
一般財団法人 茨城県環境保全事業団

新産業廃棄物最終処分場完成イメージ図



廃棄物の埋立地
容量は約240万m³とし、埋立期間は約20～23年間に予定しています。

管理棟・展開検査場
廃棄物を埋立前に確認し、適切に廃棄物の受入検査を行います。

防災調整池
ゴミに触れない雨水は、放流量を調整して防災調整池から鮎川へ放流します。

埋立地

2026年度末
供用開始予定

展開検査場

計量棟

管理棟

環境学習施設

洗車場

環境学習施設

浸出水処理施設
ゴミに触れた雨水は浄化し日立市の公共下水道へ安全に放流します。
※令和6年10月に開催した第1回施工管理WGにおいて、浸出水調整槽等の構造変更を行いました。

防災調整池

浸出水処理施設

新設道路

県道37号

令和6年10月
茨城県

処分場建設工事の進捗状況



新産業廃棄物最終処分場完成イメージ図



盛土材運搬用
仮設道路

敷地造成工

新設道路
(県土木部工事)

モルタル吹付
試験施工

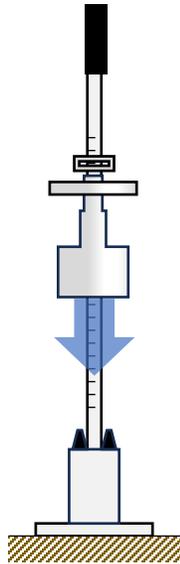
防災調整池
整備

7号堆積場掘削

令和7年2月5日 ドローン撮影

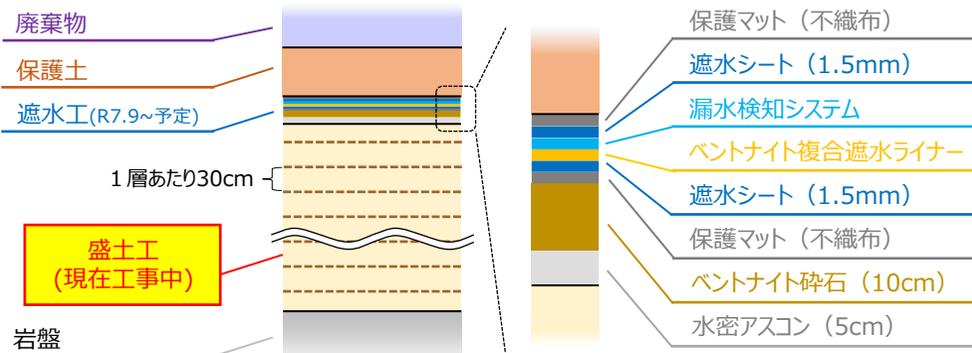
令和6年度に実施した主な工事内容

敷地造成工事



小型FWDによる地盤剛性の確認

最終処分場の埋立地底部の概略構造

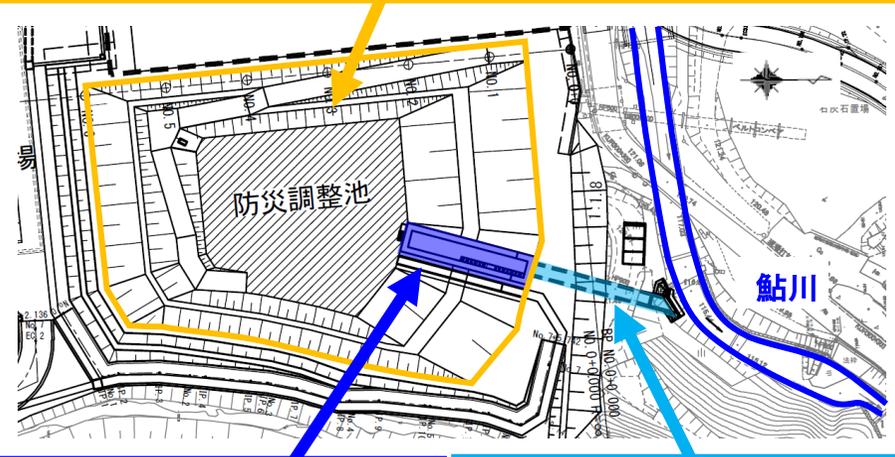


遮水工の構造模式図

防災調整池の整備



防災調整池の掘削の進捗状況



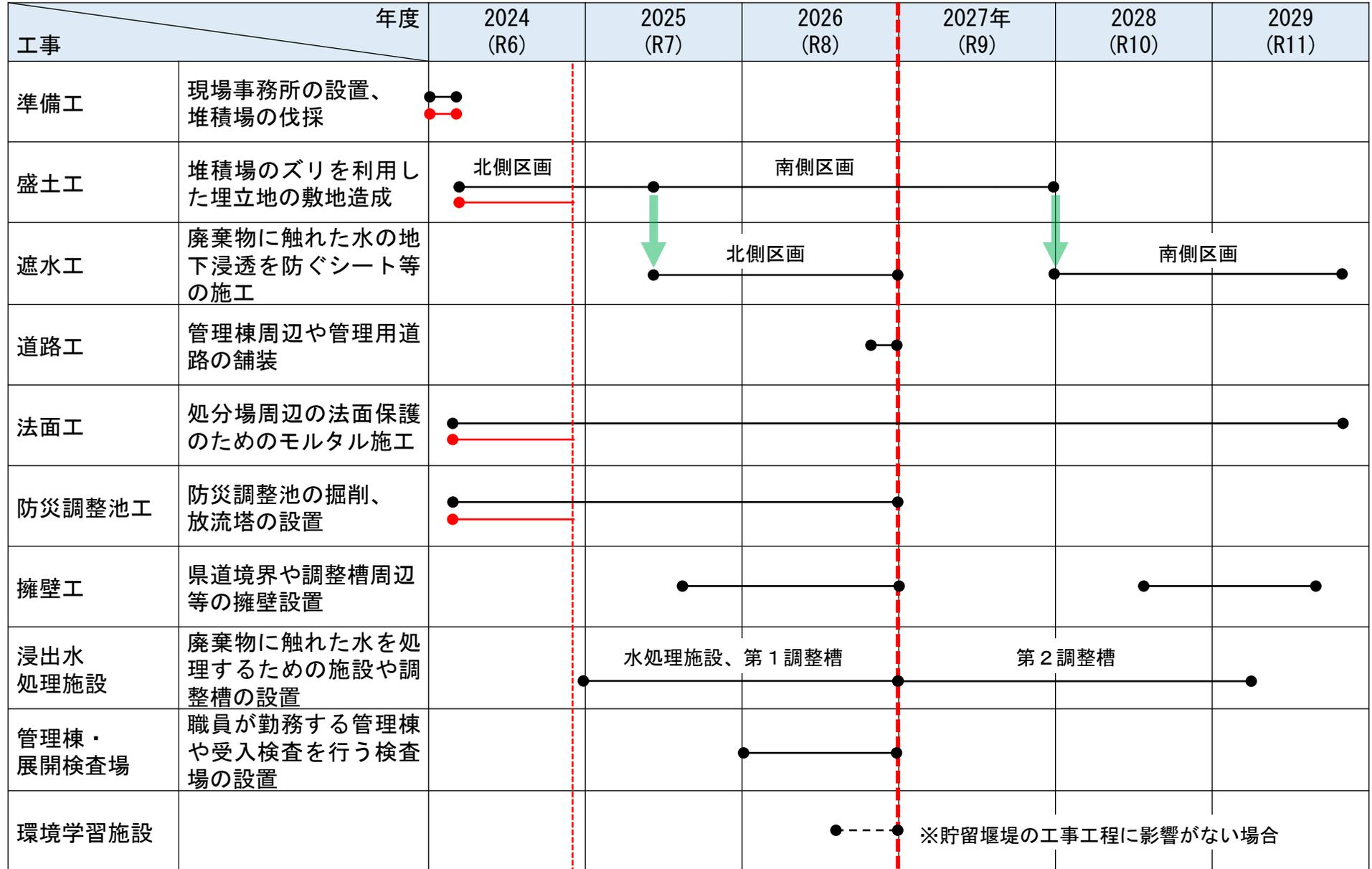
放流塔の鉄筋組み上げ状況



ボックスカルバート整備状況

処分場建設工事の進捗状況

●—● 計画 ●—● 実績

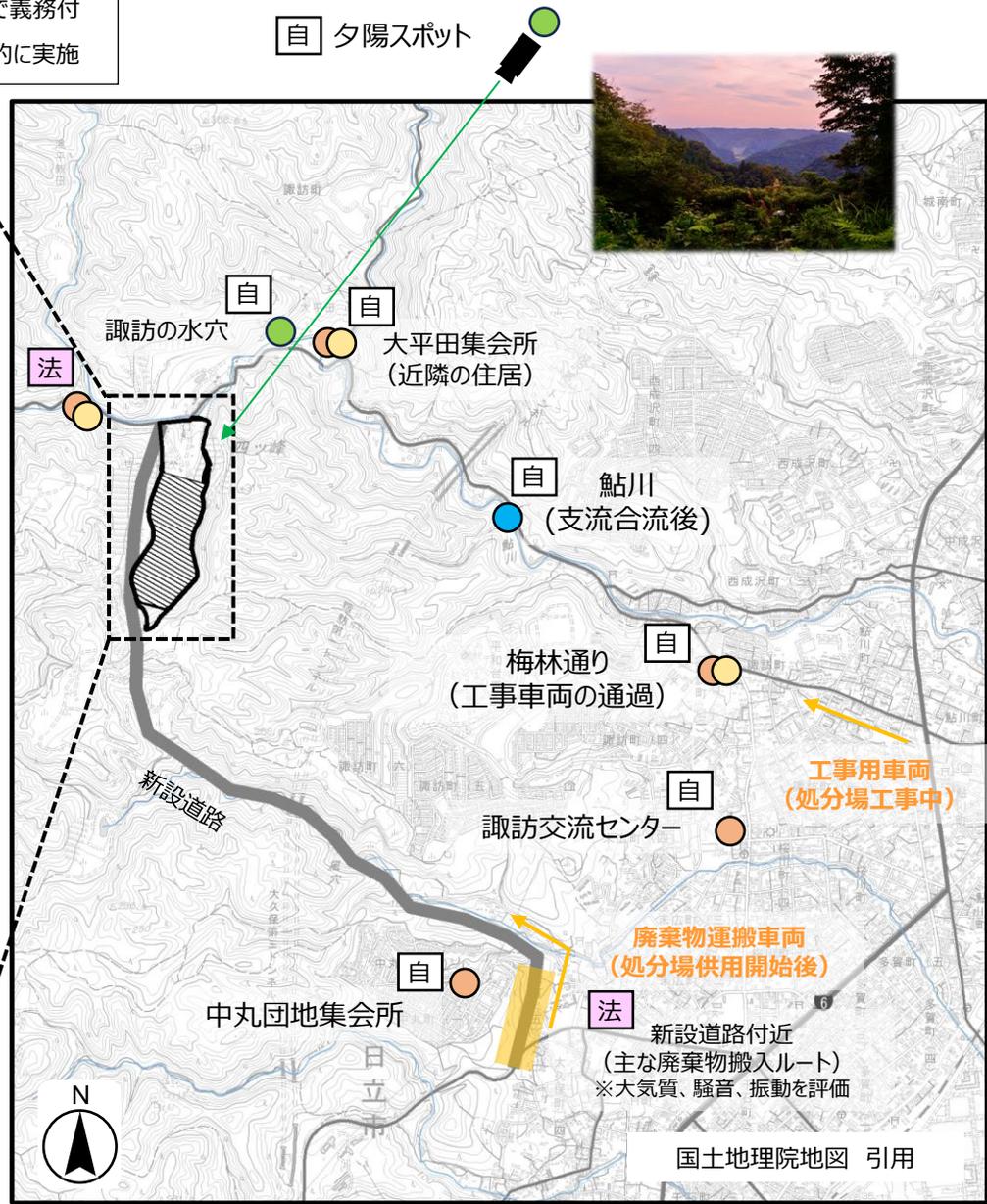
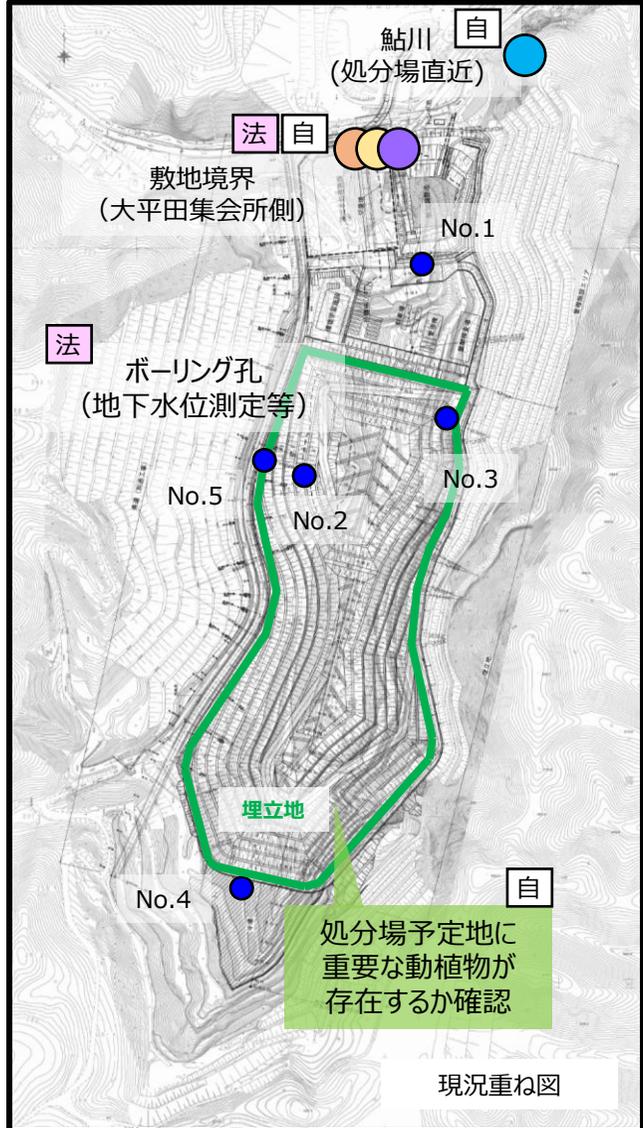


令和7年3月現在

★ 令和8年度末供用開始予定

生活環境影響調査の予測評価項目

- | | | | |
|---------|------|---------|------------|
| ○ 大気質 | ○ 悪臭 | ○ 地下水 | □ 法 法律で義務付 |
| ○ 騒音・振動 | ○ 水質 | ○ その他環境 | □ 自 自主的に実施 |



工事中の環境対策

環境影響要因		評価項目	環境保全対策
工事中	建設機械の稼働	窒素酸化物、浮遊粒子状物質 二酸化硫黄	<ul style="list-style-type: none"> 排出ガス対策型の建設機械を使用する。 建設機械は、不要なアイドリングを行わない。
		粉じん	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて散水を実施する。 ダストファイターによる散水の実施（技術提案）
		騒音、振動	<ul style="list-style-type: none"> 低騒音型の建設機械の使用に努める。 振動が発生しにくいように極力高負荷運転を避ける
工事中	車両の運行	窒素酸化物、浮遊粒子状物質	<ul style="list-style-type: none"> 資材及び機械の運搬に用いる車両は、排出ガス対策型の低公害車の導入を促進する。
		粉じん	<ul style="list-style-type: none"> 粉じんの巻きあがりが起こりにくいように走行速度を順守する
		騒音	<ul style="list-style-type: none"> 資材及び機械の運搬に用いる車両は、急発進、急ブレーキを行わず、車両は運行速度を厳守するよう請負業者に指導する。
		振動	<ul style="list-style-type: none"> 資材及び機械の運搬に用いる車両は、積載量等の交通規制を遵守し、アイドリング、急発進、急停車をしないなどの丁寧な運転を心がける。
工事中	切土工等、 処理施設の設置等	水の濁り	<ul style="list-style-type: none"> 工事時は必要に応じて適切な規模の沈砂池を設置する。 バイオログフィルター設置による濁度の低減（技術提案）
工事中	最終処分場の存在	地下水	<ul style="list-style-type: none"> 施工中の地下水位をモニタリングし、必要に応じて対策を実施する。
工事中	処分場の存在、 埋立作業	動植物・生態系	<ul style="list-style-type: none"> 代替池を設置し、改変前に確認地点からトンボ類の幼虫等の移設を行う。 カゴノキ、キジョランの個体移植を行う。
工事中	切土工等、処理施 設の設置等	廃棄物等	<ul style="list-style-type: none"> 本事業で発生した建設廃棄物（コンクリート殻）については、建設リサイクル法等に基づき、再生利用を図る。
工事中	建設機械	二酸化炭素	<ul style="list-style-type: none"> 低燃費型あるいは低炭素型の建設機械を使用する。 建設機械は、不要なアイドリングを行わない。 エレクトリックブルドーザーの使用（技術提案）
	車両運行	二酸化炭素	<ul style="list-style-type: none"> 資材及び機械の運搬に用いる車両は、排出ガス対策型の低公害車の導入を促進する。

※赤字部分抜粋

騒音対策：工事用車両の運転マナーの徹底

新産業廃棄物最終処分場建設工事 安全運行指導事項（株木JV）

1. 右の図1の運行ルート以外の運行を禁止する
2. 梅林通りを運行する工事用車両の運行時間は、9時以降とすること
3. 騒音、振動の影響の防止のため、急発進、急ブレーキ、クラクションの使用をしないこと
4. 一般車両と区別できるよう、工事用車両は貸出する掲示物を必ず掲示すること(図2)
5. 万が一事故が発生した場合、緊急連絡先へ連絡をすること
6. 梅林通りの法定速度(40km/h)を遵守すること
7. 梅林通りへの進入は、油縄子交差点を水戸側(南側)からの左折のみとすること(山側道路通行禁止)
8. 小学校下校時間のため、14:00~16:00の搬入出を禁止する。(夏休み期間：2024/7/22~8/30を除く)
9. 信号のない横断歩道があるため、歩行者がいる場合は必ず一時停止をすること
10. 油縄子交差点左折後の道路が狭く湾曲しているため、一般車両との接触の無いよう注意すること
11. 搬入車両運転前に、運行ルートを理解しておくこと
12. 道路交通法を遵守して運行をすること



図1 工事用車両の通過ルート

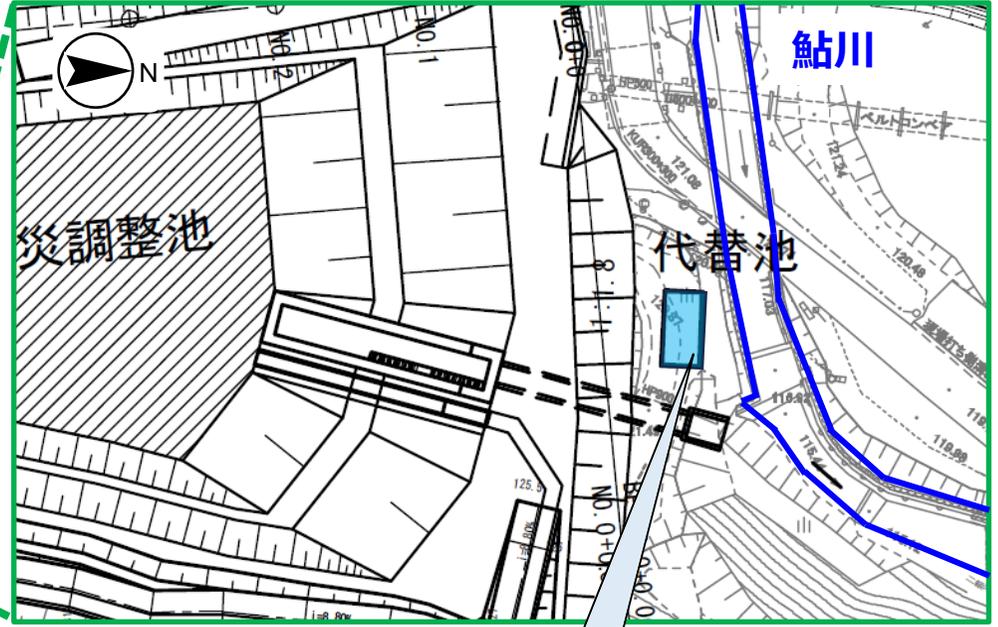
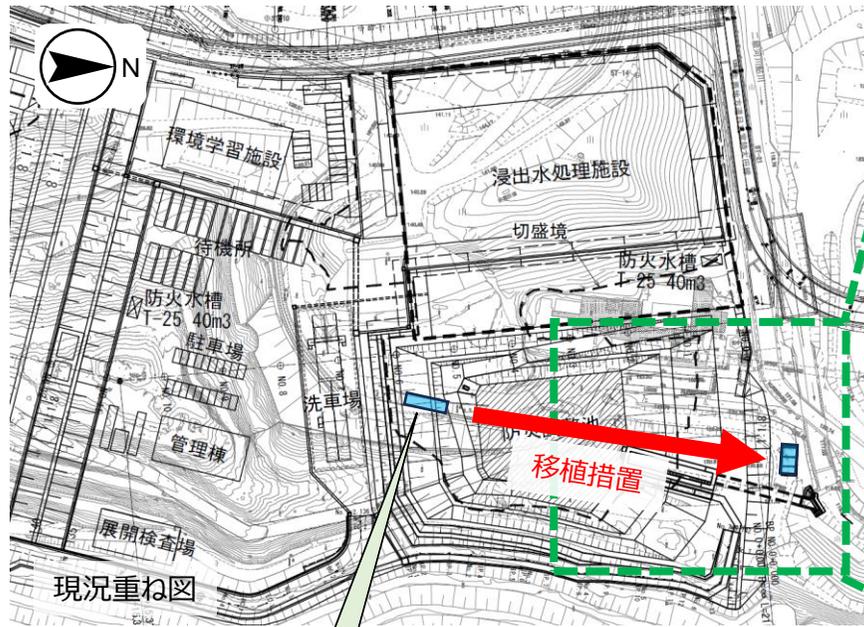


図2 工事用車両の掲示物

緊急連絡先	
1	
2	
3	
4	現場事務所
5	代表構成員 株木建設 茨城本店

令和6年7月24日修正版

動植物保全対策：トンボの幼虫（ヤゴ）の移植措置



移植前のネキトンボ生息地（洗車場跡地）

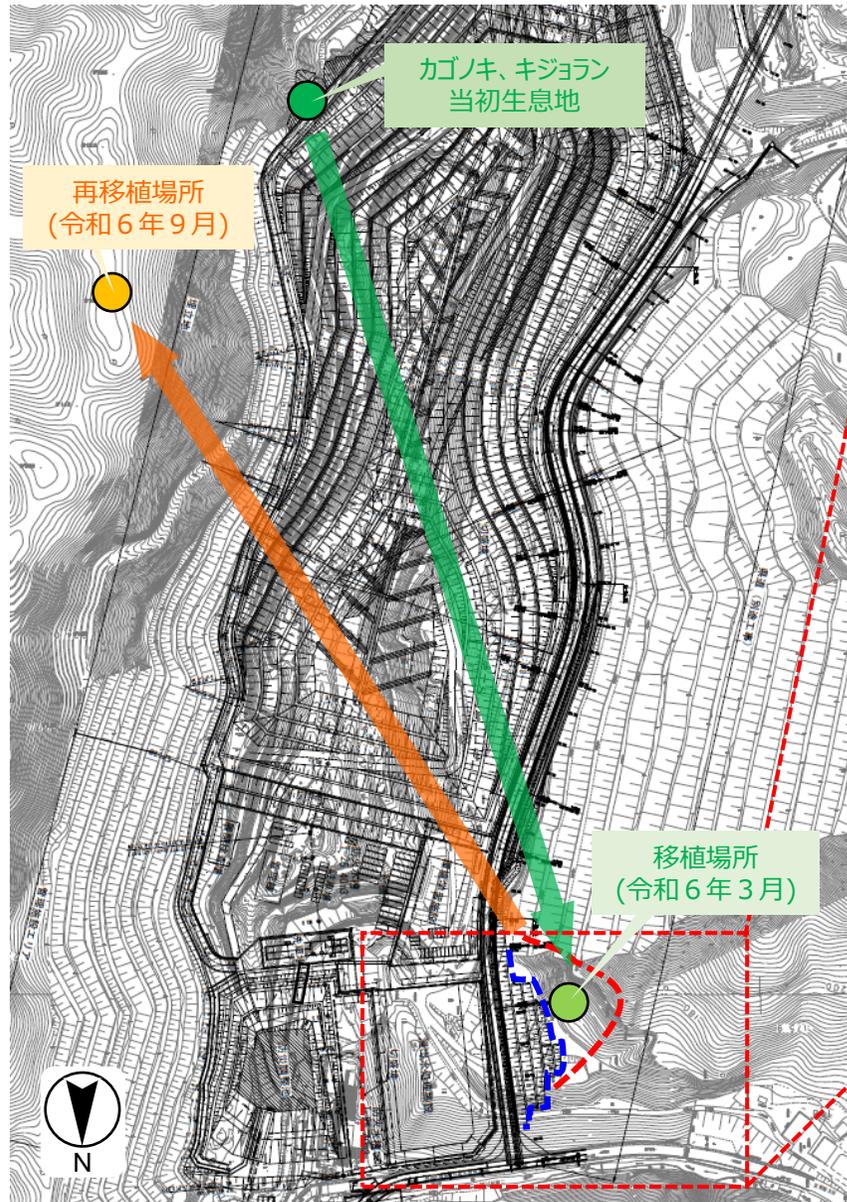


トンボ池（防災調整池北側）



※ネキトンボと同様に保全対象であったキイトンボについては、生息地付近の水辺を確認したところヤゴが生息が確認できなかったため移植措置は行わなかった。

動植物保全対策：植物の移植措置



粉じん対策：ダストファイターによる粉じん対策（技術提案）

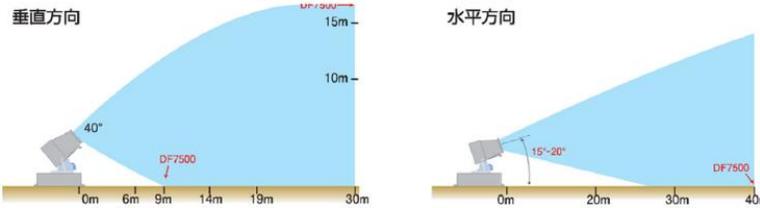
①-B 工事車両・施工の影響

建設機械の稼働に伴う粉じんの影響

ダストファイター使用事例写真



ダストファイター性能



- 広範囲の噴霧が可能(自動首振り装置付き回転範囲 335°)
- 周辺地域への微細な粉じん飛散を抑制する効果が高い
- リモコンにより遠隔操作も可能になり省力化に優れる
- 夏場の作業環境対策にも有効(直近で外気温 4℃低下)
- 使用水量の低減効果向上

仮設道路上は散水車で使用
で適宜、散水



技術提案内容（株木JV資料より）

現場での実施状況

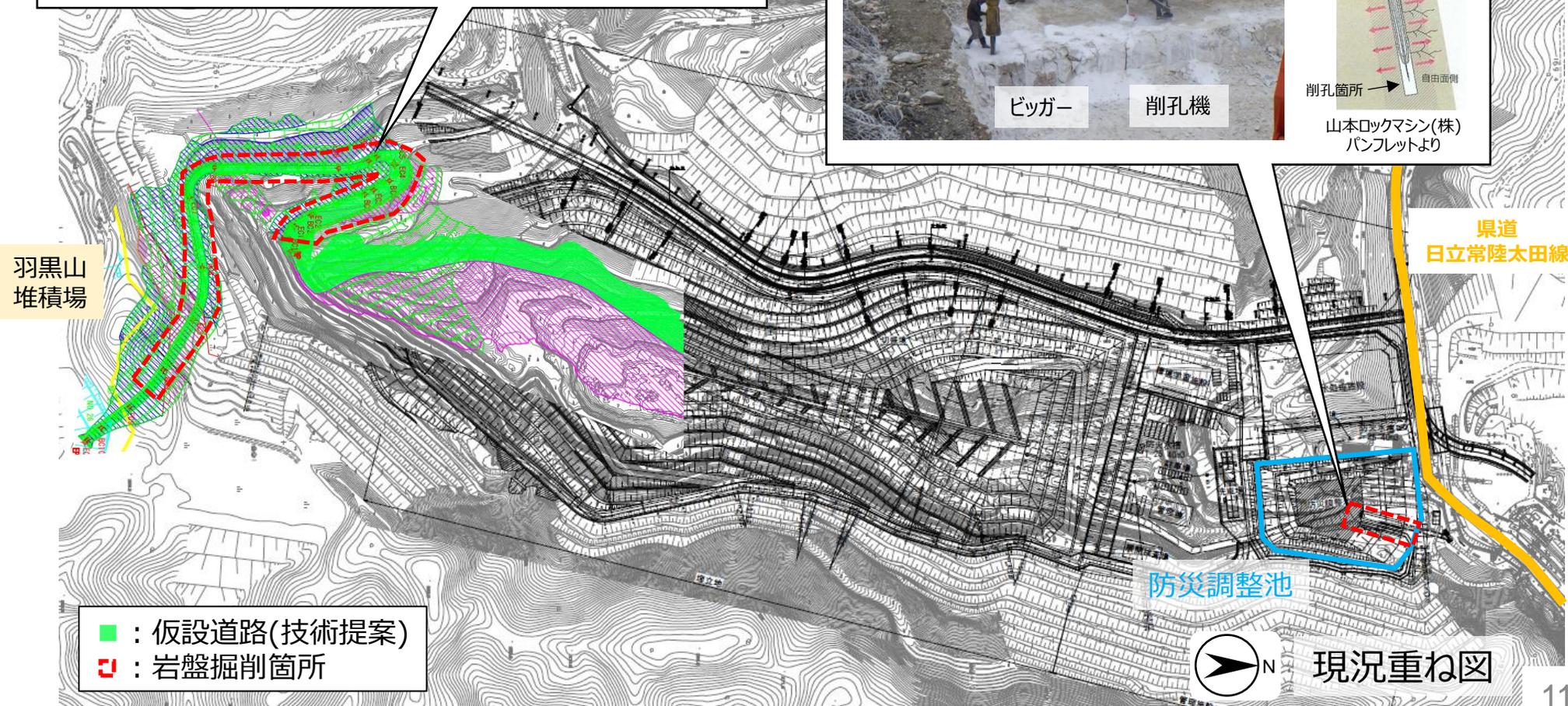
ダストファイター



散水の様子

工事名 国府川 尾瀬川両河川整備事業
分岐橋改修工事
工程 掘削
地点 尾瀬
粉塵対策
破砕・転石噴霧散水状況

騒音・振動への追加対策：岩盤掘削の手法検討



羽黒山
堆積場

- : 仮設道路(技術提案)
- ▭ : 岩盤掘削箇所

